

岐阜県立加茂農林高等学校

学校長 丹羽 俊文
学校住所 美濃加茂市本郷町 3 - 3 - 1 3 電話 0574-26-1238

- 1 会議の名称 岐阜県立加茂農林高等学校 学校評議員会 (第2回)
- 2 会議の構成
- | | | |
|-----|--------|-------------------|
| 評議員 | 佐伯 薫 | 岐阜県指導農業士 |
| | 十河 登志子 | 元美濃加茂市読書サークル協議会会長 |
| | 富田 健児 | 岐阜県農業大学校校長 |
| | 馬淵 欣児 | 行政書士 |
| | 横田 喜子 | 会社員 |
| | 藤本 清久 | P T A会長 |
- 学校側
- | | | | |
|--------|---------|-------|------------|
| 丹羽 俊文 | 校長 | 瀬瀬 斗一 | 教諭(教務主任) |
| 田屋 雅樹 | 教頭 | 岩永 英夫 | 教諭(生徒指導主事) |
| 土屋 静香 | 事務部長 | 澤野 美彦 | 教諭(進路指導主事) |
| 伊佐治 信彦 | 教諭(農場長) | | |
- 3 会議の目的 学校運営について地域住民等から幅広く意見を聴き、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた学校づくりを推進する。
- 4 会議の開催 平成29年1月24日(火) 13:30~15:30
評議員5名、P T A会長及び学校職員5名が出席
- 5 会議の概要
- 1 本校生徒との意見交換会
 - 2 学校評議員による会議
 - (1) 学校長あいさつ
 - (2) 生徒及び保護者等を対象とするアンケート結果について
 - (3) 学校関係者評価、学校への意見・要望等
 - (4) その他

テーマ 生徒との意見交換会

生徒会執行部の生徒の司会により、生徒会役員代表、農業クラブ役員代表、各学科の代表及び主な部活動の代表の生徒と学校評議員及びP T A会長との意見交換会を行った。

それぞれの生徒から、今年度頑張ったことや成果、卒業を迎える心境、学校や後輩への思いや要望などが話され、それを受けて、学校評議員等から感想・質問・意見を聴いた。主な意見等をまとめる以下のとおりである。

<生徒会活動>

意見 生徒会、農業クラブともに緑園祭(学校祭)など様々な学校行事を活発に行っているが、これらの活動を充実させるために、今後の課題となることはあるか。

生徒 今年度、本校が運営担当校として、農業クラブの東海大会を成功裡に実施することができた。短い準備期間だったが全校の生徒が協力したことが要因だ。また、緑園祭は、生徒会と農業クラブが役割を分担して運営しているが、今後は連携をより密にして充実させたい。

意見 農業クラブは、県内の農業高校生との交流にとどまらず他県の生徒との交流も推進し、互いの良いところを吸収し合えるとより活性化すると思う。

<各学科の取組>

意見 ローゼルの栽培と活用など各学科が特色を出して地域と連携した取り組みを行っており頼もしい。今後も地域の課題解決の一翼を担う活動や研究を続けてほしい。

生徒 ローゼルの研究については、地域の方々に協力していただき成功することができた。今後は、ローゼルの知名度や生産効率を上げて、本来の目的である耕作放棄地の減少につながるよう活動していきたい。

意見 生徒の説明や思いを聞いて、学校や学科に誇りを持ち一生懸命学習してきた様子や加茂農林高校に入学して良かったという強い思いを感じることができ、加茂農林が地域に必要な学校であると再認識できた。

生徒 中学校までと違い、すごくがんばれた三年間だった。先生方が、興味関心をかき立て分かりやすく指導してくださり、分かる楽しさを引き出してくれたおかげだと思う。こんなに成長できた自分に正直驚いている。

<部活動の取組>

意見 部活動や授業だけでなく、実習当番や調査・研究など、やらなくてはいけないことが大変多いと思うが、工夫していることや苦労はあるか。

生徒 当番実習等で部活動に遅れて参加しなければならないこともあるが、いろんなことにチャレンジできる学校なので、充実した学校生活を送れている。

意見 「特色ある学校で成長できた。」という声や、生徒が互いに理解し助け合っ部活動や専門学習を両立させている一生懸命な様子が伝わってきて、嬉しくていい気持ちになった。これからも頑張ってもらいたい。応援している。

テーマ 学校関係者評価、学校への意見・要望等

校長の挨拶と近況報告、生徒及び保護者等を対象に行ったアンケートの分析報告の後、生徒との交流会やアンケート結果を踏まえて、学校評議員等から感想・質問・意見を聴いた。

主な意見等をまとめると以下のとおりである。

意見 11月の「農業担い手サミット in ぎふ」では、主会場でも可茂地区会場でも本校はじめ農業高校生が大変活躍した。お陰で会も成功したが、生徒もいい経験をして成長できたと思う。

意見 アンケートの結果を見ると、様々なことで成果を上げており素晴らしい。教員の頑張りが見えるが、仕事量が増加していないか。

教員 教員には仕事にメリハリを付けることと組織的に取り組むことを常に指導している。本校の教員は、子供達の成長や喜ぶ姿を感じ、情熱を持って取り組んでいる。

意見 先ほどの交流会でも感じたが、アンケート結果からも、「本校に入学できて良かった」という生徒と「お子様は喜んで学校に行っている。」という保護者の割合が極めて高く、生徒も保護者も安心して充実した学校生活を送っていると思う。

意見 農業高校として、卒業後の農業自営者の状況はどうなっているか。

教員 可茂地区指導農業士会と連携し、生徒と農業の魅力を語り合う「井戸『畑』会議」を実施している。その成果もあってか、卒業後すぐに農業自営者となることは難しいが、岐阜県農業大学校への進学数が増加しており、農業自営について興味・関心を持つ生徒が増えている。

6 会議のまとめ

意見交換会で本校生徒の思いを聴いていただき、多くの励ましの言葉を頂くことができた。今後も生徒の活躍する場面を増やし充実した学校生活を送れるよう全教員で指導していきたい。

評議員の皆さんはもとより広く地域住民に対し、「開かれた学校」として学校や生徒の姿を示し、ご意見に耳を傾けて、学校のさらなる改善に努めていくことを確認し、本会議を閉会する。